

令和 4年 5月 23日

長泉町議会議長 井出春彦 様

会 派 名 なし（無会派）

氏名 杉山 夏男 

会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告いたします。
記

調査研究・ 研修者氏名	杉山 夏男
調査研究・ 研修月日	令和4年5月11（水）～令和4年5月13日（金）
調査研究・研修地 及び事項	(1) 目的地（公益財団法人『人と動物の未来センター』Amitie"アミティエ"） 日 時 令和4年5月11日（水）午後2時～3時30分 内 容 動物愛護を目的とした施設の開設経緯と殺処分をなくすために 様々な取り組みを行っている。
	(2) 目的地（島根県出雲市議会 現地集合 ） 日 時 令和4年5月12日（木）午前10時30分～11時30分 内 容 出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業） 内 容
	(3) 目的地（新出雲エネルギーセンター ） 日 時 令和4年5月12日（木）午後1時30分～3時 内 容 出雲市次期可燃ごみ処理施設建設運営事業について 出雲市地域新電力事業について
	(4) 目的地（島根県庁・県議会 ） 日 時 令和4年5月13日（木）午前10時00分～12時00分 内 容 島根県議会議事堂見学
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 現状 (3) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (4) 添付資料



様式5

[illegible]

出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業）について 担当／すとう
令和4年5月12日（木）10時30分～11時30分
会場：出雲商工会・出雲大社周辺地区（商店街）
担当部署：出雲市都市建設部 都市計画課 街路整備室
出雲大社周辺のまちづくりについて（街並み環境整備事業）について 担当／すとう
出雲大社周辺地区街なみ環境整備事業について
目的：下土狩周辺等、町内の人が集まる歩道の確保、景観など環境整備に役立たせるため
出雲市は合併を行い現在17万人。2千人増加で、中心部が増えている。外国人が5千人と
多く、4千人がブラジル人と言われている。村田製作所も存在する。
駅伝やクロスカントリーお誘致を行い、街なみ環境整備を10年間行ってきた。
まちづくり推進課まちづくり推進室・街路整備室を設置し、この事業を進めてきた。
交通広場もオープンし、駐車場でイベントなどを行っている。
・質問事項及びその回答別紙
・出雲大社周辺のまちづくりについて別紙参照
21世紀出雲のグランドデザイン・新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」
交流人口1千万人達成を目指し整備を進める。
町なみ街路整備で、無電柱化、道路美装化、街路灯取り付けを実施。
真名井の清水整備や、真名井小公園整備、建物修景助成により25件実施。
住民合意形成に向けた取り組みを行う。
アンケート調査の実施。238世帯に対しアンケートを行い回収率72.7%
住民意見を取り入れた計画づくり
ワークショップを開催。H22年6回行い、整備計画をつくる。
神門通りのデザイン 路面は御影石を使用。
景観にも配慮し、歩道を広く確保し、散策しやすい工夫がなされている。
（実態－留意点）
史籍を有する観光の出雲大社に、さらに人が集まり、過ごしやすいするため店に立ち寄って、
もらえるための工夫がなされていた。

(活用一 提言)
島根県の事業費助成など背景があり何より市民参加での基本計画が策定されている。
事業計画の策定、構想の重要性を再認識。住民合意形成の取り組み等、チェック機能の議会（員）
活動に活用。

出雲市次期可燃ごみ処理施設建設運営事業・出雲市地域新電力事業について
令和4年5月12日（木）10：00～11：30
会場：新エネルギーセンター
『カーボンシティへの挑戦』 出雲市地域環境部 環境政策課 カーボン推進室
ビューティフルいずもビデオ上映
飯塚市長が脱炭素宣言を行い取り組みをスタート。2021年5月27日（施政方針）
環境政策課内に再生可能エネルギー「ゼロカーボン推進室」新設3名体制。
エネルギーセンター（エネセンを引き継いで新エネルギーセンターを計画。
公設公営PFI検討 プラントメーカー8社アンケートを実施。
JFエンジニアリング・JFE・エイトコンサルが参加。検討委員会を進める。
地域新電力として、役所や学校、公民館に配給を行う。
余熱を使って発電し、省エネ技術を使って売電を実現する。
地域新電力会社を設立する。いずも縁結び電力会社
2021年7月19日・出資金5千万円 株主：出雲市・JFEエンジニアリング(株)
(株)エネルギー・ソリューション・アンド・サービス・(株)山陰合同銀行
再生可能エネルギーの地産地消を通じた事業により、地域の脱炭素化・省エネルギー化と
地域経済の活性化の好循環生み出すことを事業目的に、再生可能エネルギーによる電力
供給事業をスタート。
売電により、出雲市内一般家庭の電気料金基本料金を安くしている。
（活用一提言）
エネルギー資源や脱炭素社会の取りくみは地球規模での不可欠な喫緊の課題でもある、真剣に対応
しなければならない。当町も共同整備も考え、新エネルギー活用に向けてのさらなる対応が必要。
※縁結びのまち出雲 ゼロカーボンシティへの挑戦 資料参照

様式5

[illegible]